

主任教授からのメッセージ

女性医師が仕事としての医療現場から離れる理由の大部分は妊娠・出産です。出産後は本人の体調だけでなく、育児という重大な仕事がかかりますので、医師としての仕事復帰は決して容易ではありません。同僚の温かい理解と協力が必要です。女性医師支援体制を積極的に進めたいと思います。

○ 診療科の特徴

内科学第一講座は、本学創立2年後に開講した歴史ある内科学教室です。現在当講座では、附属病院の診療科として血液腫瘍内科、呼吸器内科（呼吸器・感染症内科と呼吸器腫瘍内科）、リウマチ・膠原病科を担当しています。総合医療センターでは、血液腫瘍内科、呼吸器膠原病内科として診療にあたっています。

○ 診療科で働く女性医師

附属病院に6名の女性医師が在籍し、第一線で活躍しています。これまでに、産休や育休を経て復帰し、日常診療から研究、国内外の学会参加など、幅広く活躍している医師もいます。

職場復帰への取り組みについて

○ 復帰までの道のり

結婚、育児、介護など、さまざまな事情による休職や復職について個別に対応いたしますので、興味のある方はご連絡ください。

一例を紹介します。個人の休職前の経験やブランクの期間により異なりますので、目安とお考えください。

血液腫瘍内科		指導下	独立
検査	骨髄検査	1～2か月	3か月以降
	腰椎穿刺	2～4か月	5か月以降
処置	CVカテーテル挿入	2～3か月	4か月以降
	末梢血幹細胞採取	2～6か月	7か月以降
外来	検査	1～3か月	4か月以降
	科別専門	3～12か月	1年以降
病棟	入院患者受け持ち	3～6か月	7か月以降
	救急対応（日勤）	3～6か月	7か月以降

リウマチ・膠原病内科		指導下	独立
治療手技	CV カテーテル挿入	1 か月	2 か月以降
	ブラットアクセス挿入	2～4 か月	5 か月以降
外来	検査	1 か月	2 か月以降
	一般外来	1～2 か月	3 か月以降
	科別専門	3～5 か月	6 か月以降
病棟	入院患者受け持ち	1～2 か月	3 か月以降
	救急対応（日勤）	3～5 か月	6 か月以降

○ 女性医師キャリア形成支援担当医師からのメッセージ

女性医師同士はもちろん、科内で助け合うシステムが出来ているので、お互いに頼りやすい環境であると思います。家庭と仕事、どちらもうまく両立したい!! という方には、まず先輩女性医師が相談に乗ります。

● 講座ホームページ 関西医科大学 内科学第一講座 <https://kmu-med1.com/>